

令和5年度長久手市平成こども塾事業方針

1 事業方針

平成こども塾は、現在も残されている長久手市の豊かな田園環境を生かし、こどもたちが地域の自然、文化、環境等を学ぶことを通じて健全な心と身体を培うとともに、地域の人たちとの交流を促進し、人と自然がよりよく共生する地域社会の実現に資するために事業を推進していきます。

「平成こども塾マスタープラン」に定められた「こども塾の意義と基本理念」に基づいて、この事業方針を策定し事業を実施します。

2 主要事業

平成こども塾事業（別添「プログラム年間事業計画」参照）

- (1) 学校連携事業
- (2) 平成こども塾サポート隊事業
- (3) 専門プログラム
- (4) 平成こども塾プログラム

3 課題と目標

(1) 学校連携プログラム実施事業

ア 今の子どもは、地域の文化、食等に触れる機会がほとんどない。

⇒おこしもの、餅つき等のプログラムを通して、長久手の文化、食等を子どもたちに分かりやすく教え、体験させる。

イ 多世代とのふれあいの場が少ない。

⇒プログラム体験を通して、多世代の講師との交流を深める。

ウ 事業に関わる講師やサポート隊ボランティアの確保が難しい。

⇒現講師の知り合いやプログラム参加者の保護者への勧誘

⇒生涯学習情報誌やこども塾だよりへの募集記事掲載

⇒大人向けプログラムの実施

⇒報道機関へのプログラムの周知

(2) 長久手版プレーパーク事業

ア プレーパークとは何かが地域の人に知られていない。

⇒先進地等を見学する。

⇒認知度の向上を図るために体験会（終日）を開催する。

イ プレーリーダーの担い手がいない。

⇒プレーパーク運営希望者を育成するためのサポート

◎ 相談に対する随時意見交換・協議対応

◎ 他市町の運営会場への同行・支援

